

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 4 年 1 2 月実施分]

A 学校の様子について

「1 学校に行くのが楽しい」については、[全学年：82.6%、1年：82.2%、2年：82.5%、3年：83.2%]が肯定的回答で、どの学年もほぼ同等の割合であった。一方、「2 本校の部活動は活発で、充実している」は、昨年度より 2.7%（全学年）減少[全学年：87.2%、1年：84.2%、2年：87.5%、3年：89.8%]している。本校の特徴でもある部活動をさらに活性化させるために、生徒主体の活動を推進していかなければならない。そのためにも、部活動代表者研修などを行い、生徒がより積極的に部活動に参加できるよう、リーダーの育成にも取り組んでいかなければならない。

B 授業について

「5 授業の内容はわかりやすい」の肯定的回答率が、前年度より 5.3%（全学年）向上[全学年：82.1%、1年：84.2%、2年：83.3%、3年：78.9%]しており、教員一人ひとりの努力の成果があらわれている。しかし一方で、「7 先生は生徒の質問に丁寧に応えてくれる」[全学年：85.8%、1年：87.6%、2年：82.1%、3年：87.5%]や「8 先生は、教え方に工夫をしている」[全学年：83.3%、1年：86.1%、2年：81.7%、3年：82.0%]については、昨年度より低下しており、「授業アンケート」などを分析し、さらなる工夫・改善をしていかなければならない。特に、1人1台端末の活用において、教員間の格差があることも、その要因の一つであると推測できるので、今後も研修を積み重ね、積極的に活用できるようにするとともに、互いの成果を共有し研究に努めていきたい。

C 進路指導関係について

どの設問においても、肯定的回答率が概ね前年度より向上しており、今までの取り組みを継続するとともに、生徒一人ひとりの特性に応じた進路実現をめざしていかなければならない。

D 行事・団活動について

多くの設問で、肯定的回答率が昨年度より低下している。また、桜高祭直後の独自のアンケートにおいても、満足度が約 7% 低下[R3:89.3%→R4:82.4%]している。このことを真摯に受け止め、学校全体の行事について、検討しさらなる発展に向けて取り組んでいかなければならない。現在、「将来構想検討委員会」で議論を進めているので、来年度の実現に向けて検討していく。

E 生活指導・保健関係について

「19 いのちの大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の肯定的回答率が[全学年：92.1%、1年：93.4%、2年：91.7%、3年：91.0%]ととても高い数値であり、「命の講話」や「赤ちゃん先生プロジェクト」の内容が充実していたことがうかがえる。また、「17 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」[全学年：87.5%、1年：88.4%、2年：85.8%、3年：88.3%]や「20 学校には、生徒の悩みごとを聞き、相談にのれる体制ができています」[全学年：85.5%、1年：86.5%、2年：84.2%、3年：85.9%]も肯定的回答率が高く、教員と生徒とがコミュニケーションを図る環境ができていると考えられる。一方で、「18 学校生活について、先生方の指導は納得できる」[全学年：76.3%、1年：79.5%、2年：75.8%、3年：73.4%]は、昨年度と比べて同等か低下しており、学校全体としての相談体制を整えていく必要がある。

F その他

「21 授業以外で一定時間、毎日勉強している」[全学年：33.8%、1年：25.9%、2年：31.3%、3年：44.1%]の肯定的回答率は、昨年度より4.3%減少しているが、3年生の経年比較では、11.2%と大幅に向上しており、学習支援クラウドサービスの活用がその一因としてあげられる。3年生は、受験対策として使用していたと考えられる。今後は1・2年生の使用頻度を上げ、家庭学習の定着に向けて工夫していくとともに、生徒への関心を引き上げるためにも、教員研修を重ね、積極的に活用できるようにする。

「22 交通安全に対する意識が高まり、時間に余裕をもって登下校できている」[全学年：78.3%、1年：77.6%、2年：79.6%、3年：77.7%]「24 校内の清掃は行き届いており、清潔で安全な環境を維持できている」[全学年：78.9%、1年：77.2%、2年：77.1%、3年：82.4%]は、ともに、今年度新たに設けた設問であるが、その肯定的回答率が予想よりも高い結果が得られた。来年度以降の目標達成のためにも、日ごろの指導のさらなる積み重ねが重要だと考える。